

ルイス・クラレット & 岡田 将



Luis Claret

2017
6/11 (日)

開演 PM3:00 開場 2:30

王子ホール

中央区銀座4-7-5 ☎03-3564-0200

4000円 (全自由席)

● チケット取扱い
王子ホールチケットセンター
e+ (イープラス)

☎ 03-3567-9990 <http://ojihall.jp/>
<http://eplus.jp/>

● お問合せ/チケット取扱い

スピカ ☎03-3978-6548 ✉ spica@sepia.ocn.ne.jp

ベートーヴェンを弾く

ベートーヴェンProgram

「魔笛」の主題による7つの変奏曲 Wo066
チェロとピアノの為のソナタ第2番 ト短調 作品5-2
チェロとピアノの為のソナタ第3番 イ長調 作品69
チェロとピアノの為のソナタ第4番 ハ長調 作品102-1



Masaru Okada

ルイス・クラレット Lluís Claret (チェロ)



バルセロナを拠点に世界的に活躍するチェリスト。名付け親である20世紀最大のチェリスト、パブロ・カザルスの影響でチェリストを志し、エンリック・カザルス（パブロ・カザルスの弟）から音楽教育を受ける。リセウ音楽院を優等で卒業した後、フランス、イタリア、アメリカでモーリス・ジャンドロン、エヴァ・ヤンツェルらのもとで研鑽を積む。また、ジョルジ・セボック、バーナード・グリーンハウスからも薫陶を受ける。

ボローニャ国際コンクール(75年)、カザルス国際コンクール(76年)、ロストロポーヴィチ国際コンクール(77年)で次々優勝を果たし、一躍注目を集める。

以来、ブーレーズ、ミュンヒンガー、ロストロポーヴィッチ、ノイマン等巨匠の指揮で、ワシントン・ナショナル管、モスクワフィル、フランス国立管、チェコ・フィルなど多くのメジャーオーケストラと共演する。現代作曲家(デュティユー、ルトスワフスキ、ブーレーズ、クセナキス……)から献呈された作品の初演も数多い。室内楽にも力を注ぎ、ベルリン・トリオのメンバーとして活躍するほか、著名な演奏家と共演を重ねている。演奏活動に加え、主要な国際コンクールの審査員、音楽祭の音楽監督など幅広い活動を行っている。

ソロ、室内楽、協奏曲のCDが数多くリリースされ、いずれも高く評価されている。現在、ニューイングランド音楽院教授。

岡田 将 Masaru Okada (ピアノ)



桐朋女子高等学校音楽学部(共学)在学中の1992年、日本音楽コンクール第1位となる。

翌年、同校を首席で卒業し、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院に留学。続いて95年よりベルリン国立芸術大学にて研鑽を積む。

97年アルトウール・シュナーベルコンクール(ドイツ)第1位、99年リスト国際ピアノコンクール(オランダ)で日本人初の優勝など、コンクールで輝かしい成果を挙げる。

以来、ドイツを拠点に欧米と日本各地でリサイタル、オーケストラとの共演、バイロイト音楽祭など名だたる音楽祭への参加など、ソリストとして活躍する。

2007年に本拠地を日本に移し、リスト生誕200年の2011年に東京と神戸で開催したオール・リスト3回シリーズ、2012～13年のバッハ・パルティータ全曲演奏、2014～16年のベートーヴェン・ピアノソナタ全曲演奏をはじめ、意欲的な活動を展開。また、近年は室内楽にも力を注ぎ、第一線の演奏家と共演を重ねている。

2004年、デビューCD「岡田将プレイズ・リスト」をリリース。新聞紙上で推薦盤に取り上げられるなど高い評価を得る。

2002年出光賞、03年日本ショパン協会賞、11年坂井時忠音楽賞、兵庫県芸術奨励賞を受賞。

現在、神戸女学院大学の准教授。



スピカはおとめ座の一等星、ラテン語で“麦の穂”を意味します。

‘気軽に足を運び、心から楽しめるコンサート’を目指し、スピカは1990年に手作りコンサート活動をスタートしました。

踏まれても踏まれても伸びていく麦、
頭を垂れずまっすぐに天に向かって伸びていく麦の穂のようでありたいと願っています。

Special Thanks 住野公一様